

令和8年度

「第2回豊後大野市地域公共交通会議」

「第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」 議事要旨

日 時 令和8年6月9日（火）13時30分～14時40分

場 所 豊後大野市役所2階 視聴覚室



1. 開会

事務局より資格審査結果について委員総数に対し過半数の出席（本人出席、代理出席及びオンライン出席を含む）を確認したことから、会議が成立している旨報告した。

2. 会長挨拶

本市では人口減少や高齢化の進行、公共交通利用者の減少、運転手不足など地域公共交通を取り巻く環境が厳しさを増している。そのような中、地域住民の移動手段を確保するため、交通事業者や関係機関と連携しながら持続可能な公共交通体系の構築に向けて協議を進めたいとのあいさつがあった。

3. 議題

(1) 報告案件

①コミュニティバス・あいのりタクシー・コミタクの運行状況について

資料に基づき利用状況を説明した。運行状況に対する委員からの意見はなかった。

また、参加した交通事業者から状況説明を受けた。

【九州旅客鉄道株式会社 大分支社】

川底委員：利用者数は全体として減少傾向にあるものの、沿線自治体や関係機関との連携を図りながら利用促進に取り組んでいることが報告された。また、人口減少や利用者減少に加え、運行を支える人材確保が課題となっており、今後も地域と連携しながら鉄道の維に努めていく考えが示された。

【大野竹田バス株式会社】

濱本委員：路線バス及びコミュニティバスの運行状況について説明があった。ゾーン運賃の導入により、土日祝日の利用が増加しており、利用者の認知が徐々に広がっているとの報告があった。一方で、平日は通勤・通学利用が中心であり、大幅な利用増には至っていないことから、今後も利用動向を注視していくとの説明があった。

【豊後大野市タクシー協会】

日坂委員：タクシー利用実績について、前年同期と比較して輸送回数、輸送人員とも減少傾向にあることが報告された。特に輸送回数の減少が大きく、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況にあることが説明された。今後も行政と連携しながら地域の移動手段確保に努めていきたいとの意見があった。

②予約型乗合タクシー「コミタク」運行区域拡大について

事務局より、朝地町及び大野町への運行区域拡大について資料に基づき説明を行った。県タクシー協会及び市タクシー協会からは、コミタク利用者が従来どの交通手段を利用していたのか分析が必要であり、タクシー事業への影響を把握する必要があるとの意見があった。また、コミタクとタクシーが競合するのではなく、共存共栄できる仕組みづくりが重要であり、引き続き協議を重ねていくべきとの意見が出された。

この意見に対し、事務局からは、タクシー事業者とは定期的な協議を行っており、今後も連携しながら事業を進める旨説明した。

市社会福祉協議会からは、高齢者からコミタクへの期待の声がある一方で、スマートフォンやLINE予約の操作が難しいとの意見が寄せられていることが紹介された。また、目的地の拡大や電話予約への要望もあることから、実証運行の中で検証してほしいとの要望があった。

③予算決算報告について

令和7年度決算及び令和8年度予算について報告が行われた。令和7年度は国庫補助金を受け入れ、市一般会計へ支出したことを報告した。監査結果についても適正である旨報告した。令和8年度は国の補助事業を活用し、豊後大野市地域公共交通計画策定業務を実施するための予算を計上していることを説明した。

予算・決算に対する委員からの意見はなかった。

(2) 議案

①豊後大野市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

事務局より、地域公共交通確保維持改善事業補助金の交付を受けるための計画案について説明を行った。対象路線や利用見込み等について説明後、委員から利用者数推計方法に関する質問があったが、事務局から算定根拠について説明を行った。審議の結果、細部修正は事務局に委任するとの条件付きで、議案は了承された。

②豊後大野市地域公共交通計画の策定について

事務局より、令和8年度に地域公共交通計画を策定する旨説明が行われた。今後、地域の実情や利用者ニーズを踏まえながら調査・分析を進め、持続可能な公共交通体系の構築を目指す旨の説明を行った。

また、委託事業者の選定にあたっては、白杵市、竹田市、豊後大野市の3市で合同プロポーザル審査を行う旨説明した。審議の結果、議案は了承された。

4. その他

【話題提供】 タクシー運賃改定について

市タクシー協会会長より、新聞報道された県内タクシー運賃改定について説明があった。報道では運賃改定が決定したように受け取られる内容となっていたが、現時点では各事業者からの申請手続きが進められている段階であり、正式決定には至っていないとの説明があった。

また、燃料費や人件費の上昇、運転手不足などによりタクシー業界の経営環境は厳しい状況にあり、地域からタクシーをなくさないためにも適正な運賃設定が必要との考えが示された。

5. 閉会

令和8年度 第2回 豊後大野市地域公共交通会議
 豊後大野市地域公共交通活性化協議会 委員出席者名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
会長	白井 将明	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
副会長	佐藤 英介	住民代表 豊後大野市自治会連合会 会長	欠		
委員	麻生 春彦	地元経済団体 豊後大野市商工会 副会長	欠		
委員	松垣 安城	大分県企画振興部 交通政策局 地域交通・物流対策室 室長	代理	副主幹	成瀬 順子
委員	高村 聡	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	代理	建設・保全課長	藤本 美由紀
委員	牧野 理	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署地域交通課長	欠		
委員	川底 正剛	鉄道事業者 JR九州(株) 大分支社副支社長	○		
委員	望月 郁男	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	欠		
委員	江熊 春彦	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会 専務理事	○		
委員	濱本 真治	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役社長	○		
委員	日坂 泰弘	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会 会長	○		
委員	穴南 則昭	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	欠		
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	欠		
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部門教授	○ (WEB)		
委員	藤木 淳史	九州運輸局 大分運輸支局 支局長	代理	首席運輸 企画専門官	亀井 将志
委員	麻生 和子	行政機関(市) 福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	○		
委員	曲 賢治	行政機関(市) 高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○		
委員	小代 幸輝	行政機関(市) 市道管理者 豊後大野市建設課長	代理	参事	佐藤 康宏
委員	渡辺 竜也	行政機関(市) スクールバス担当 豊後大野市学校教育課長	○		
委員	後藤 政美	社会福祉協議会 福祉担当 豊後大野市社会福祉協議会 会長	○		

事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課 課長
事務局	三代 征二	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 係長
事務局	太田 雅子	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係 主任